

被災した古文書などの取り扱いにお困りの方は、ご連絡ください！

3月16日の福島県沖地震で被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

このたびの震災により、福島県内をはじめとする被災地では、町や村の歴史を後世に伝える大切な歴史資料が失われる危険性が高まっています。

特に、倒壊した建物の再建が難しく取り壊さざるを得ないときに、古くからお持ちになってこられた資料を一緒に処分してしまうケースが少なくありません。

また、災害と直接係らなくても、代替わりや相続、家の建て替え等の際して、古くから伝わった資料を処分されるケースもあります。

ふくしま歴史資料保存ネットワークは、こうしたものを一時的に避難させたり、整理・記録保存したりするためのお手伝いをするボランティアの集まりです。

皆様が保管されてきた大切な歴史遺産が散逸しないよう、取り組んでいきたいと考えています。お困りの方はご一報ください。

ふくしま歴史資料保存ネットワーク（略称「ふくしま史料ネット」）事務局

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学行政政策学類 阿部浩一研究室気付

Eメール shiryo-net@ipc.fukushima-u.ac.jp

（携帯で受信許可設定をされている方は、p113@ipc.fukushima-u.ac.jpをご利用ください）

電話・FAXの場合：福島県歴史資料館 Tel 024-534-9193 Fax 024-534-9195

※私たちがこれまで保全に取り組んできたものの多くは、江戸時代から明治、大正、昭和戦前、戦後に至る、町や村、家の歴史を伝えるさまざまな資料です。

例) 古文書（和紙に墨で書かれたもの）、古書、古新聞、教科書、手紙、日記、写真、町内会など団体の記録
美術品（陶磁器、掛け軸、巻物、屏風など）、考古資料（土器など）

※古いふすまの下貼りとして、古文書が使われている例もよくあります。

※これ以外にも、生活文化（民俗）に関するもの（農具／古着／祭礼の道具・衣装など）、自然系の資料（植物・昆虫標本、化石、はく製など）などで、保全にお困りのものがございましたら、専門家をご紹介しますので、あわせてご相談下さい。

